

ONLINE

AMR対策臨床セミナー

かぜ診療ブラッシュアップコース

—with コロナ時代のかぜ診療とAMR対策—

2016年に策定された「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」では、抗菌薬の適正使用の推進が大きく掲げられ、さまざまな取り組みが始まっています。

かぜは最も日常的な疾患ですが、新型コロナウイルス感染症の流行により、その診療は大きな影響を受けました。診断、治療、患者さんとのコミュニケーション、感染対策など、これまでのかぜ診療と変わった部分、変わらない部分がありますが、かぜに抗菌薬は効果がないというのは変わりません。With コロナ時代のかぜ診療を見直すことで、AMR対策を考えるのが今回のセミナーの目的です。ぜひご参加ください。

日時 ■ **2021年12月11日(土) 15:00開演** (開場 14:30) (終了 16:45)

対象 ■ 医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、その他の医療従事者

参加費 ■ 無料 *オンラインライブ配信

プログラム

●かぜ診療におけるAMR対策

新型コロナウイルス感染症の流行でAMR対策がどう変わったか

具 芳明

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野 教授

●with コロナ時代のかぜ診療

コロナを無視することはできなくなったかぜ診療

山本 舜悟

京都市立病院 感染症科 部長

●クリニックにおけるかぜ診療の現状

新型コロナウイルス感染症の流行で現場のかぜ診療はどう変わったか？

中西 重清

中西内科 院長

申込方法

下記URL、QRコードより専用フォームにご記入の上、お申込みください

<https://forms.gle/cNVbr8oWoJSPBqhf6>

